

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149650号
(U3149650)

(45) 発行日 平成21年4月9日 (2009.4.9)

(24) 登録日 平成21年3月18日 (2009.3.18)

(51) Int.Cl.

F 1

A 4 7 B 97/00 (2006.01)

A 4 7 B 97/00

D

A 4 7 G 33/02 (2006.01)

A 4 7 G 33/02

D

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 実願2008-8142 (U2008-8142)
 (22) 出願日 平成20年11月20日 (2008.11.20)

(73) 実用新案権者 306027965
 吉田 雅人
 岐阜県多治見市金岡町3丁目106番地の
 1
 (72) 考案者 吉田雅人
 岐阜県多治見市金岡町3丁目106番地の
 1

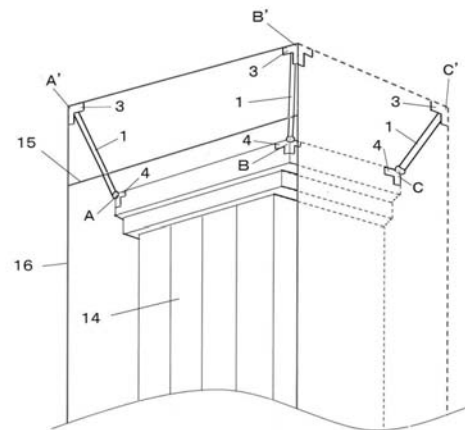
(54) 【考案の名称】 お仏壇の耐震装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 仏間に設置されているお仏壇の優れた耐震効果の耐震装置を提供する。

【解決手段】 伸縮による長さ調整機能と突っ張り性をもつ筒体の先端に、前後左右自由に角度調整機能をもつユニバーサルジョイントで接続された三面对応型先端部3、4、もしくは前後2方向に蝶番式に角度調整機能をもつ部材で接続された二面对応型先端部を使用することにより、今まで不可能であった仏間の上面4隅対お仏壇上面4隅、もしくは仏間上部左右の角対お仏壇上部左右の角からなる対象物間を、斜角度にて固持する事が可能になる。これにより仏間内の加重対応力に優れた隅面もしくは角面と、お仏壇の加重対応力の優れた隅面もしくは角面との間に於いて、突っ張り力による確実な固定をすることが可能となる。

【選択図】 図5



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

伸縮による長さ調整機能と突っ張り性をもつ筒体の先端に、縦横奥の三面を抑える形状の三面对応型先端部もしくは縦横の二面を抑える形状の二面对応型先端部が接続され、当該接続部分が任意角度に対応するような、ユニバーサルジョイントもしくは蝶番式に二方向に角度調整機能をもつことにより、お仏壇上部の四隅部分と仏間の内面上部の四隅部分、もしくはお仏壇上部左右の角と仏間の内面上部の左右の角の間に、斜角度で取り付けが容易且つ耐震性を効果的に発揮出来ることを特徴とするお仏壇の耐震装置。

【請求項 2】

伸縮による長さ調整機能と突っ張り性をもつ筒体の部品と、角度調整機能のある先端部分の部品と、長さ調整用の延長用筒体部分の部品が各々独立し、自由に組み合わせ脱着できることにより、取り付け場所の状況に合わせた対応を容易に可能にしたことを特徴とするお仏壇の耐震装置

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は仏間に設置されているお仏壇の耐震装置に関するものである

【背景技術】

【0002】

従来の突っ張り型耐震装置は当接する平面間を突っ張り機能を持つ棒状等の装置が垂直に取り付けられる方法による、垂直の突っ張り力だけにより転倒を防ぐものである

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

従来の垂直型の突っ張り機能で仏間内のお仏壇を固定しようとした場合、先端部が当接する仏間天板部分が脱着可能な木板で加重対応力の無い場合や、土壁で先端部を固定しにくいなど、仏間の造作や部材により使用が限定されてしまう場合があり、またお仏壇自体も先端部が当接する天板が荷重対応力に乏しい場合が多く見受けられ、垂直方向での突っ張り機能の耐震装置が使用できる範囲が限られてしまう。

【0004】

また、仏間やお仏壇のサイズにより当接面間の距離にかなりのバラつきがあるため、対応できる長さの範囲を広くしなければならない。且つ取り付け部分の空間に制限がある場合は仏間天板とお仏壇天板への取り付け作業が困難である。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本考案は、伸縮による長さ調整機能と突っ張り性をもつ筒体の先端に、前後左右自由に角度調整機能をもつユニバーサルジョイントで接続された三面对応型先端部、もしくは前後2方向に蝶番式に角度調整機能をもつ部材で接続された二面对応型先端部を使用することにより、今まで不可能であった仏間の上面4隅対お仏壇上面4隅、もしくは仏間上部左右の角対お仏壇上部左右の角からなる対象物間を、斜角度にて固持する事が可能になる。これにより仏間内の加重対応力に優れた隅面もしくは角面と、お仏壇の加重対応力の優れた隅面もしくは角面との間に於いて、突っ張り力による確実な固定をすることが可能となる。

【0006】

各部品を脱着可能にする事により、延長パイプを容易に使用することが可能になり、且つ取り付け空間に合わせて先端部分を三面对応型か二面对応型かの選択をした上での取替作業が容易におこなうことが可能となる。

【考案の効果】

【0007】

4方向もしくは2方向から斜角度でお仏壇を固定するので、優れた耐震性が発揮される

10

20

30

40

50

。

【0008】

仏間の造作や部材による影響を受けず、使用対象が広範囲になる。

【0009】

各部品を自由に組み合わせることにより、限られた部品数で広範囲のサイズと様々な空間への対応が可能になる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0010】

以下、図面を用いて本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【実施例1】

10

【0011】

図1は、伸縮による長さ調整機能と突っ張り性をもつ筒体の部品2の先端に三面对応型先端部3と4を各々に接続した状態の本考案の耐震装置1の斜視図である。三面对応型先端部3が仏間の上部隅に接し、三面对応型先端部4がお仏壇の上部隅に接する形状である。各先端部と筒体部分との連結部分には上下左右に任意の角度調整機能をもつユニバーサルジョイント5を使用し、仏間上部隅とお仏壇上部隅の位置関係からなるあらゆる角度に対応し直線で支える事と、対象と当接する先端部3と4が縦横奥の三面に接し支える事により、確実ににお仏壇を保持する機能を待つ。

【0012】

本考案の三面对応型耐震装置1を図5、図6、図7に示すように、仏間に設置されているお仏壇の上部前後左右の4隅A・B・C・Dと、仏間の上部前後左右の4隅A'・B'・C'・D'との間に長さと角度を調整して設置することにより、4方向から確実ににお仏壇を保持し固定するため、非常に優れた耐震性を発揮し転倒を防止する。

20

【実施例2】

【0013】

図2は、伸縮による長さ調整機能と突っ張り性を持つ部品2が対応できる長さ調整範囲以上の距離が対象物間にある場合に対応させた本考案の耐震装置の斜視図である。

【0014】

図3は図2に示した耐震装置の構成部品を示す図であり、接続部分9の筒体の凹側は空洞で凸側は凹側の空洞部分よりも若干小さな径を持つ突起円柱型形状により、挿入した場合に双方が横ズレしないだけの機能をもつ。また、各部品のジョイント部分は同様の形状にすることにより、差し替えが簡単で先端部品の変更や、延長パイプの追加が容易にできる。

30

【0015】

図4は、各先端部3、4とパイプとの連結部分に付くユニバーサルジョイント5の拡大図であり、パイプ先端部が球体形8で、当該球体形8より若干直径が広い球体形孔をもつ受け部分7に挿入されている状態である。これにより、前後左右自由に任意の角度調整が可能になり、対象間の様々な位置関係に対応することが出来る。只、あくまでも上記連結方法は一例であり、上下に任意角度が調整可能な蝶番型の接続部を十字に組み合わせる形状のもの等、上下左右の任意角度の調整が可能であれば形状は問わない。

40

【実施例3】

【0016】

図8は、伸縮による長さ調整機能と突っ張り性をもつ筒体の部品2の先端に二面对応型先端部11と12を各々に接続した状態の本考案の耐震装置10の斜視図である。二面对応型先端部11が仏間の側面壁上部と天井縁との角に接し、二面对応型先端部12がお仏壇の側面上部と天板との角に接する形状である。各先端部と筒体部分との連結部分には蝶番式の前後方向に対して自由に任意の角度が調整できる連結部13を使用し、仏間上部角とお仏壇上部角の位置関係からなるあらゆる角度に対応し直線で支える事と、対象との当接部分が縦横の二面に接し支える事により、確実ににお仏壇を保持する機能を待つ。

【0017】

50

本考案の二面对応型耐震装置 10 を図 9 に示すように、仏間に設置されているお仏壇の側面上部と天板との角 E・F と仏間の側面壁上部と天井との角 E'・F' との間に、長さや角度を調整して設置することにより、左右 2 方向から確実にお仏壇の本体を固定するため、優れた耐震性を発揮し転倒を防止する。

【0018】

4 方向からの固定と比較した場合に 2 方向では耐震性では劣る部分はあるが、正面からは見えにくく美観を損なわない点と、設置の容易性という利点がある。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図 1】本考案の耐震装置の三面对応型先端部を両端に取り付けた斜視図である。

10

【図 2】本考案の耐震装置の三面对応型先端部を両端に取り付けたものに、延長用の部品 6 を中間に接続し、長距離対応にした状態の斜視図である。

【図 3】図 2 に示した耐震装置の構成部品を示す図である。

【図 4】各先端部 3、4 と筒体との連結部分に付くユニバーサルジョイント 5 の拡大図である。

【図 5】仏間に設置されているお仏壇に本考案の 4 方向型の耐震装置 1 を設置した状態の斜視図である。

【図 6】仏間に設置されているお仏壇に本考案の 4 方向型の耐震装置 1 を設置した状態の正面図である。

【図 7】仏間に設置されているお仏壇に本考案の 4 方向型の耐震装置 1 を設置した状態の平面図である。

20

【図 8】本考案の耐震装置の二面对応型先端部を両端に取り付けた状態の斜視図である。

【図 9】仏間に設置されているお仏壇に本考案の 2 方向型の耐震装置 10 を設置した状態の斜視図である。

【図 10】仏間に設置されているお仏壇に本考案の 2 方向型の耐震装置 10 を設置した状態の正面図である。

【図 11】仏間に設置されているお仏壇に本考案の 2 方向型の耐震装置 10 を設置した状態の平面図である。

【符号の説明】

【0020】

30

1 三面对応型先端部を両端に取り付けた耐震装置本体

2 伸縮による長さ調整機能と突っ張り性を持つ筒体

3 三面对応型仏間角用先端部 仏間側

4 三面对応型仏壇角用先端部 仏壇側

5 ユニバーサルジョイント

6 延長部品

7 ユニバーサルジョイント受け部品

8 ユニバーサルジョイント差込部品

9 各部品ジョイント部分

10 二面对応型先端部を両端に取り付けた耐震装置本体

40

11 二面对応型仏間角用先端部

12 二面对応型仏壇角用先端部

13 蝶番式連結金具

14 仏壇本体

15 仏間入口

16 仏間鴨居

17 仏壇天板

18 仏間天井縁

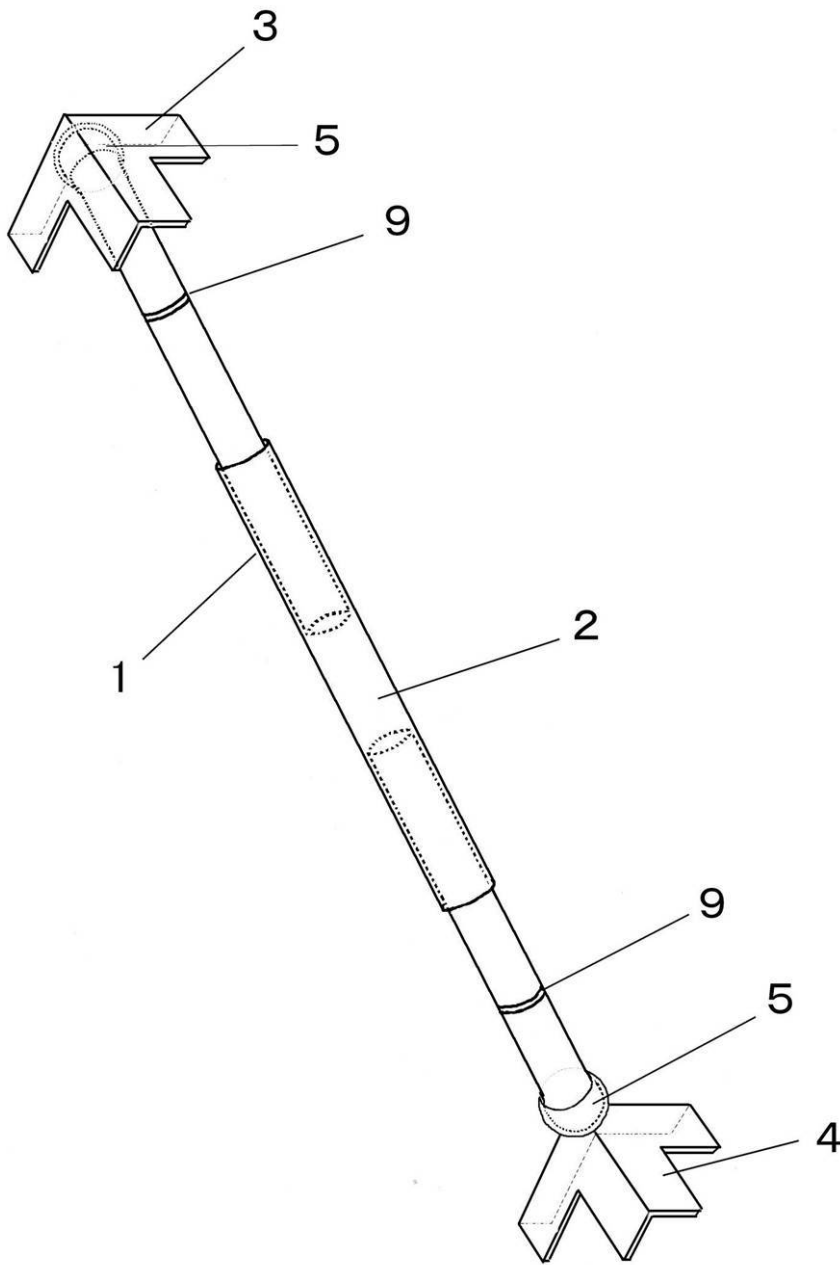
19 凸側筒体接続部

20 凹側筒体接続部

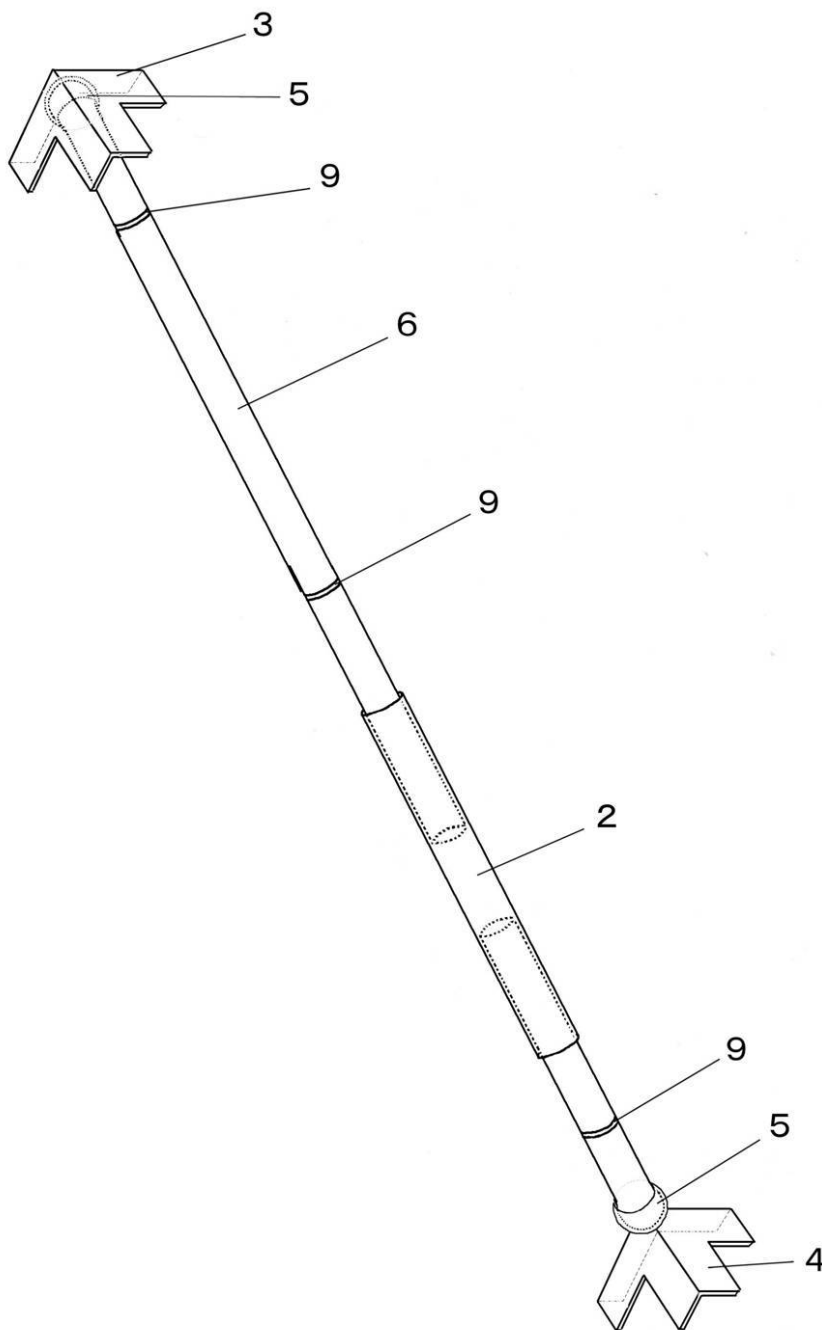
50

- A お仏壇前面左上部隅
- A' 仏間前面左上部隅
- B お仏壇前面右上部隅
- B' 仏間前面右上部隅
- C お仏壇背面右上部隅
- C' 仏間背面右上部隅
- D お仏壇背面左上部隅
- D' 仏間背面左上部隅
- E お仏壇側面左上部角
- E' 仏間側面壁左上部角
- F お仏壇側面右上部角
- F' 仏間側面壁右上部角

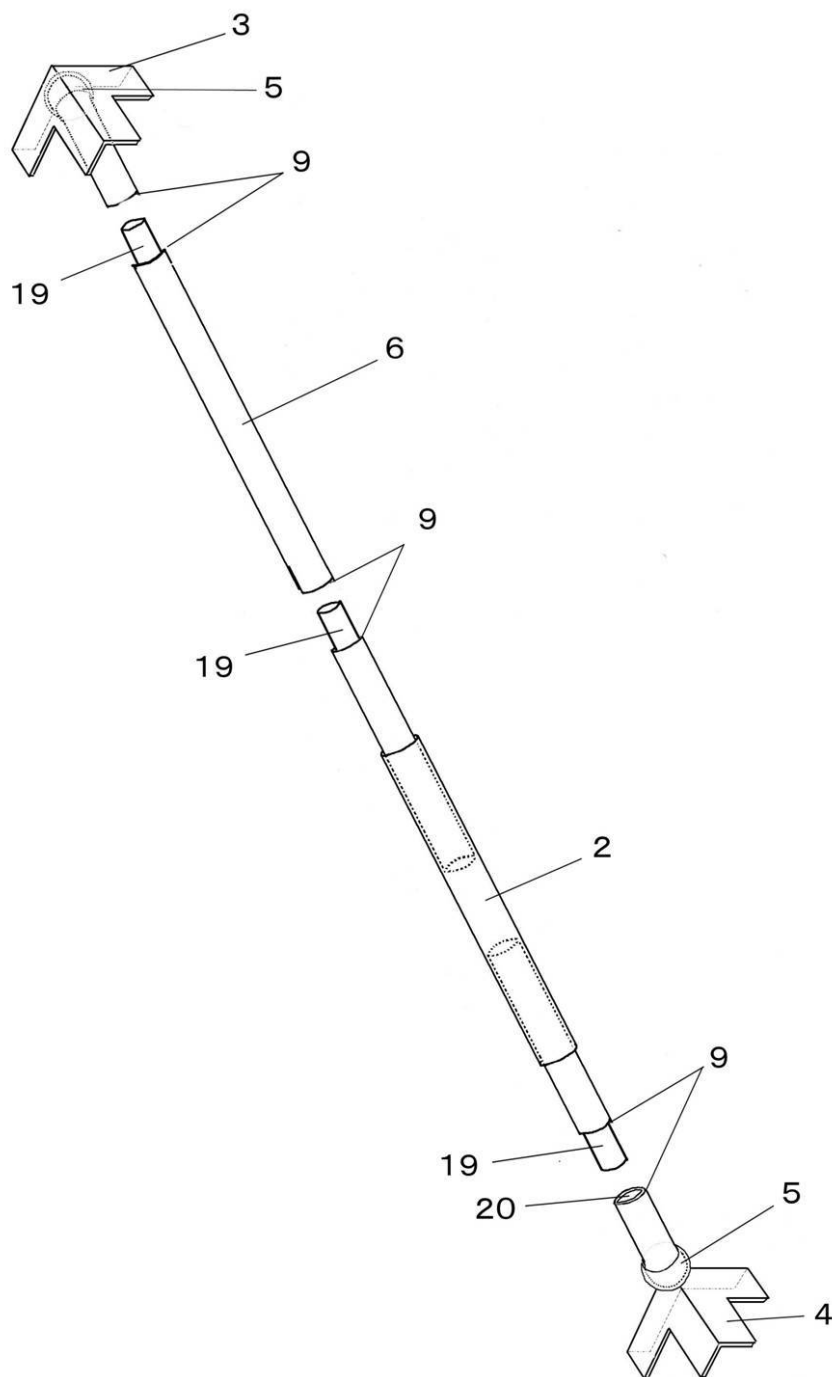
【図 1】



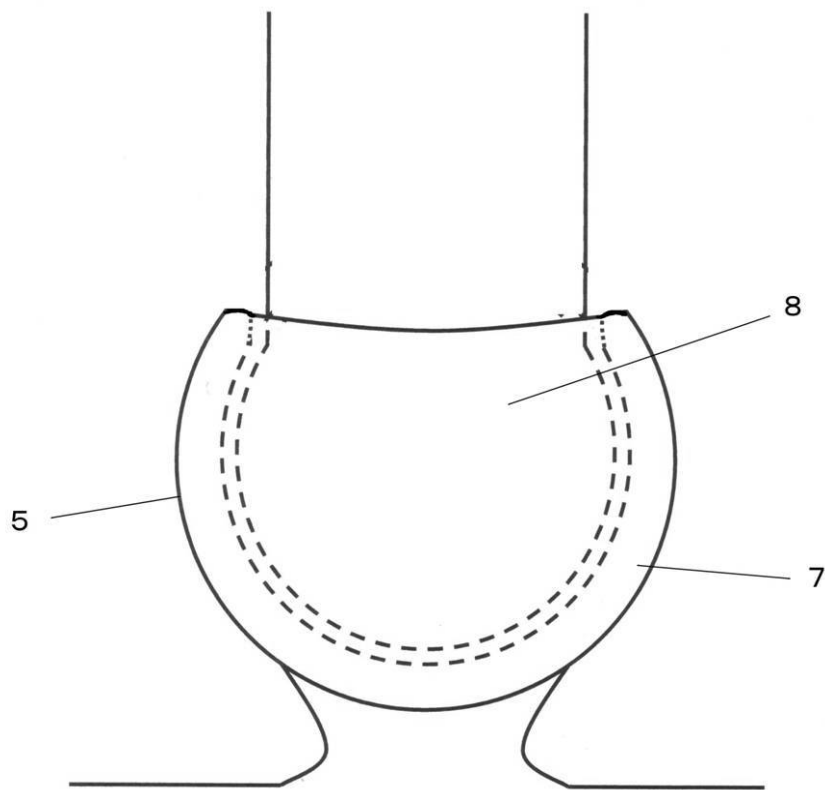
【図 2】



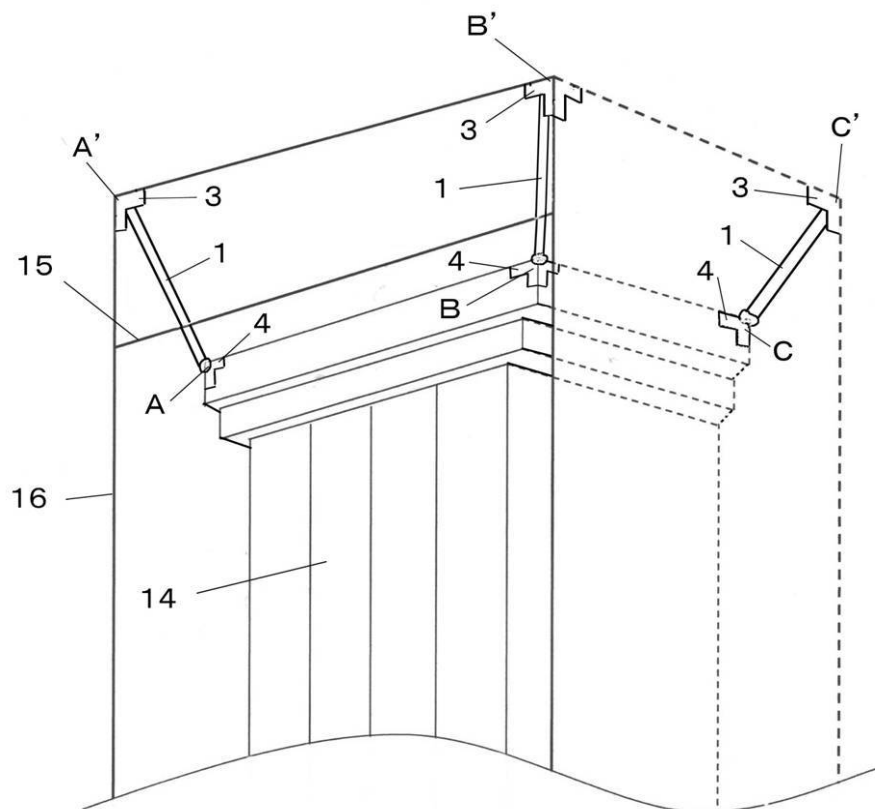
【図 3】



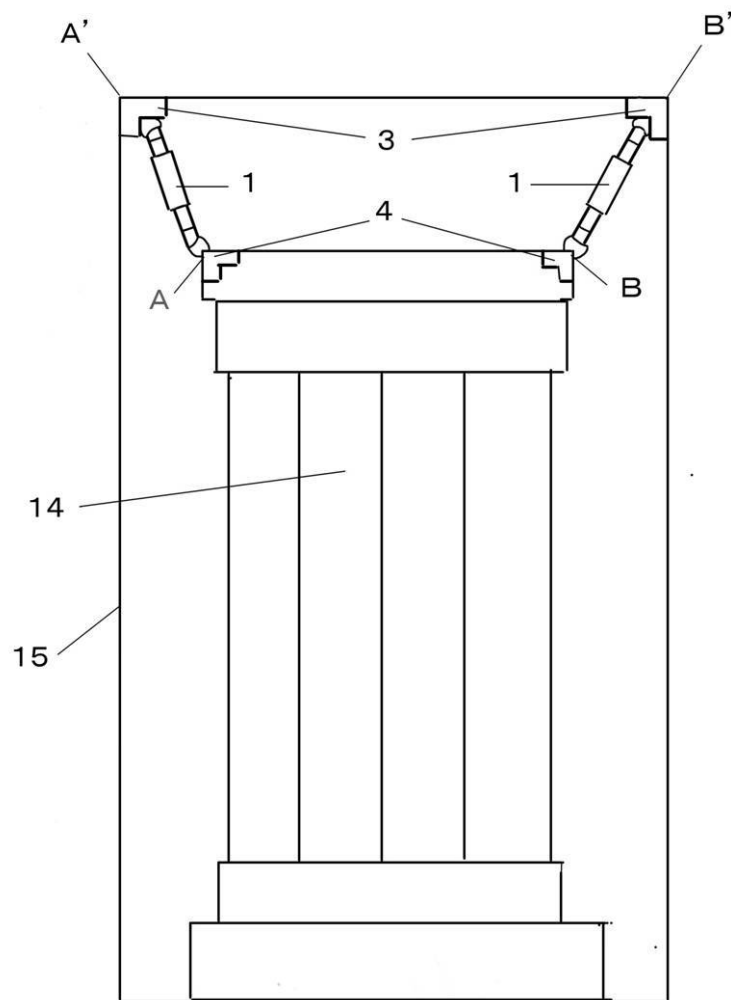
【図 4】



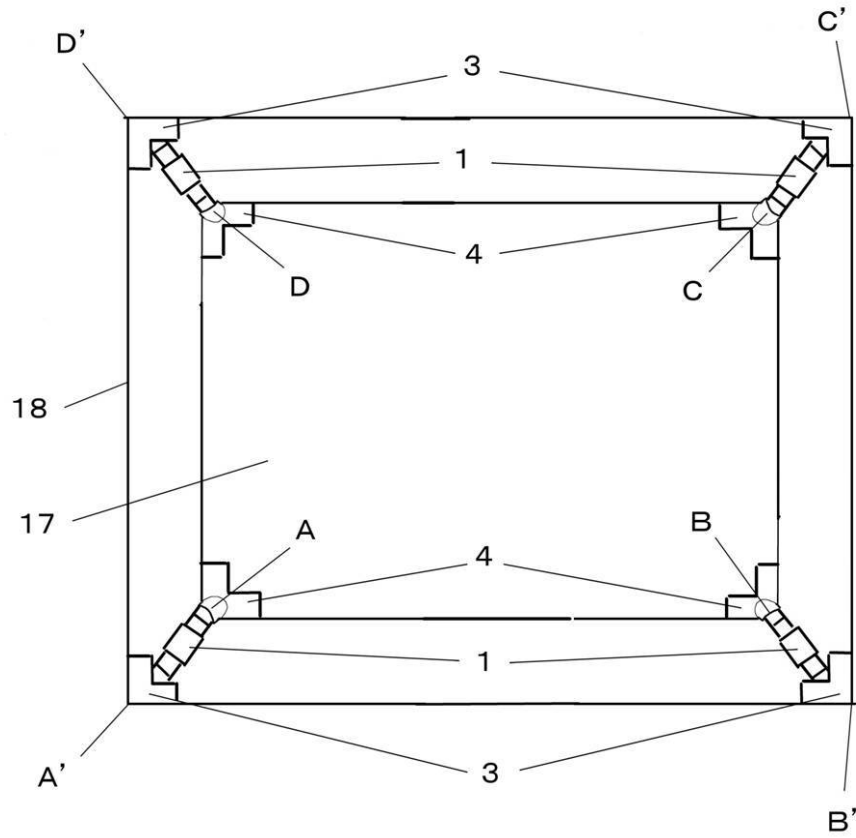
【図 5】



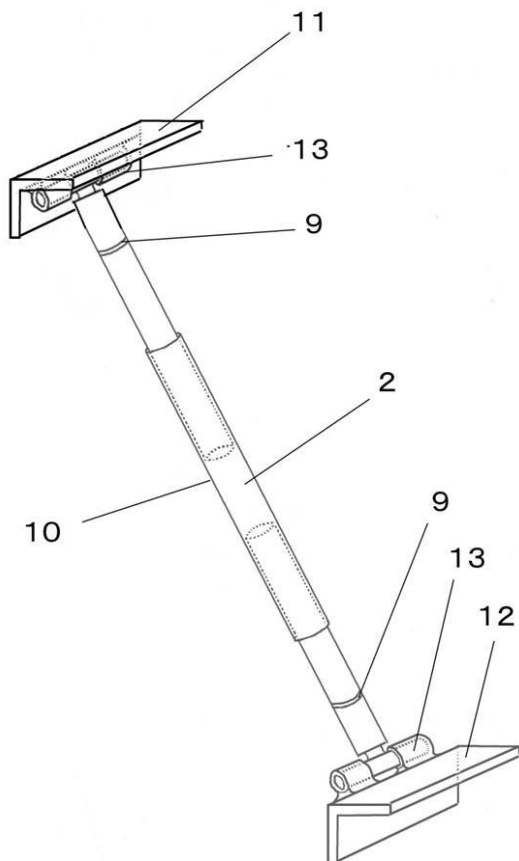
【図 6】



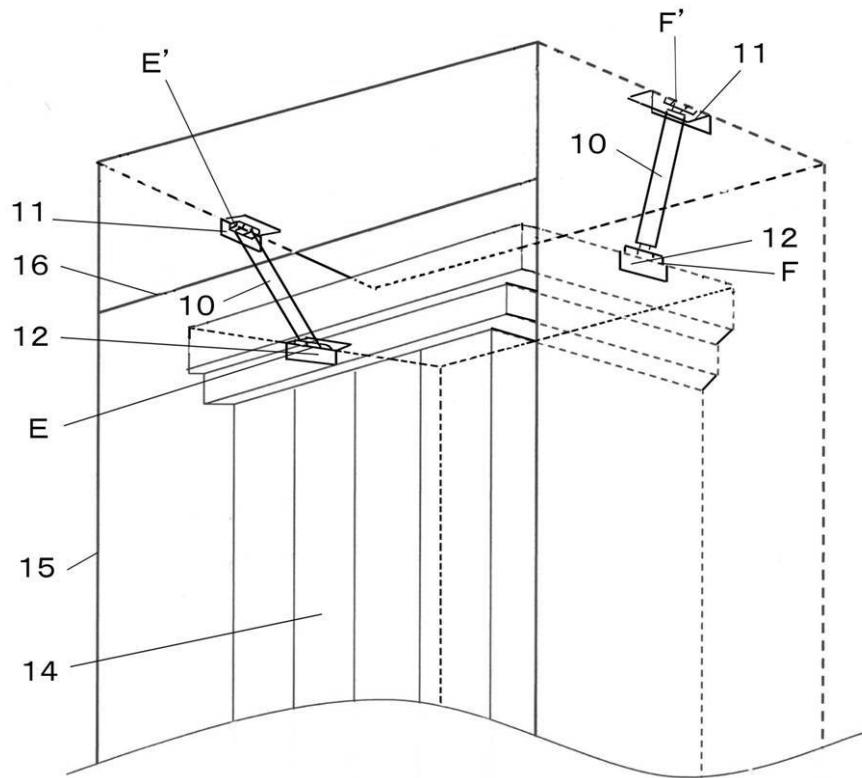
【図 7】



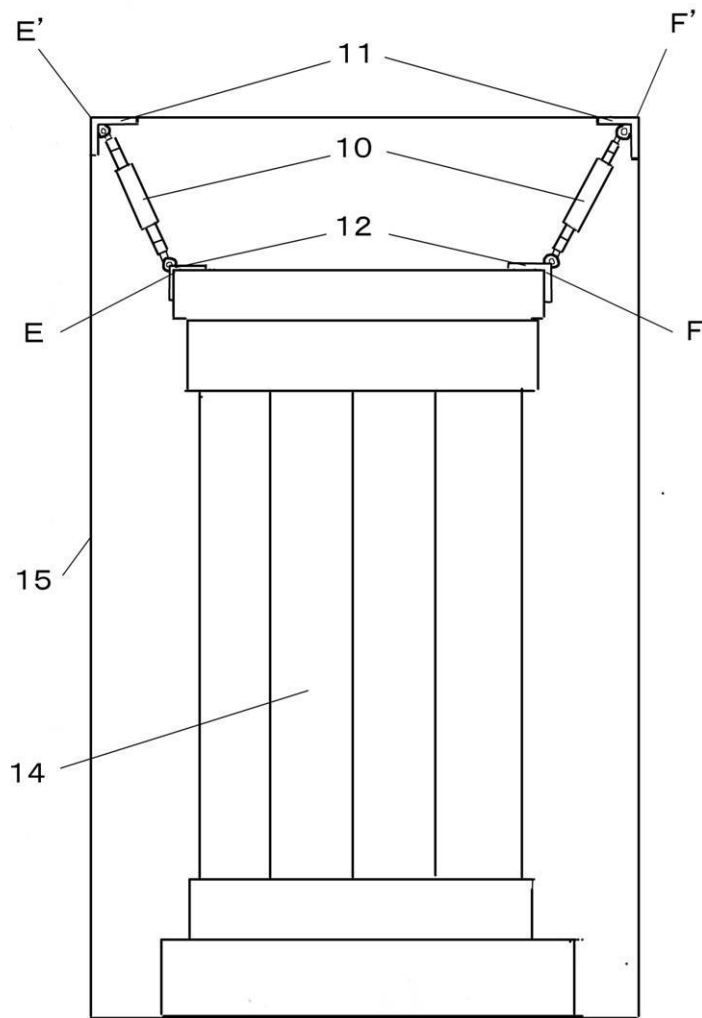
【図 8】



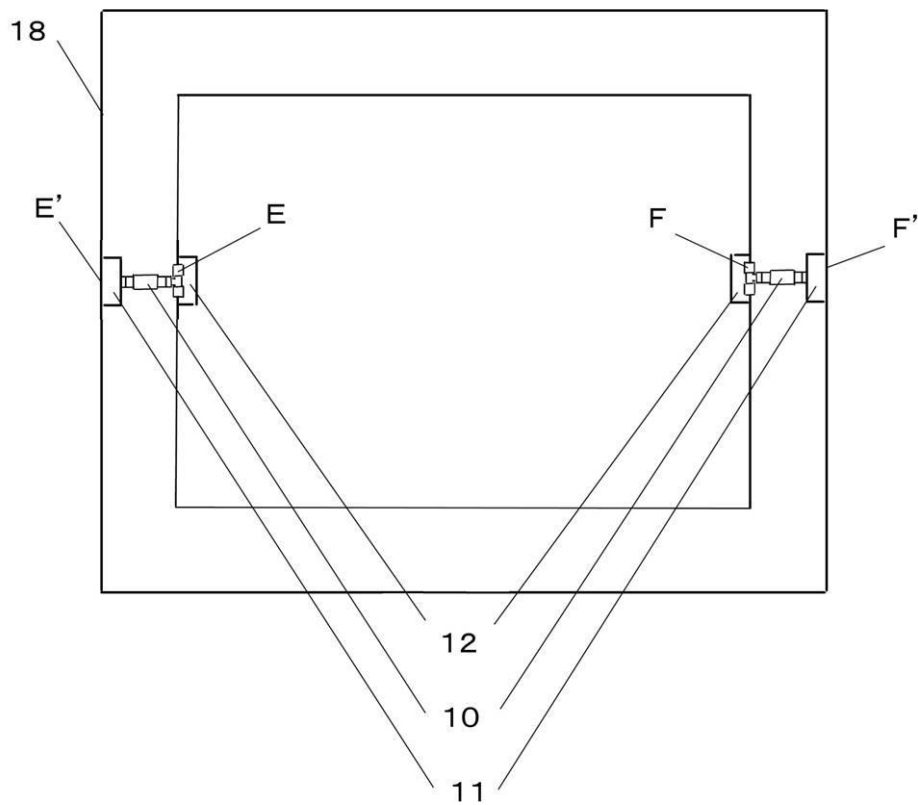
【図 9】



【図 10】



【図 1 1】



【手続補正書】

【提出日】平成21年1月26日(2009.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

伸縮による長さ調整機能と突っ張り性をもつ筒体の部品と、請求項 1 に記載された角度調整機能をもつ縦横奥の三面を抑える形状の三面对応型先端部もしくは縦横の二面を抑える形状の二面对応型先端部の部品と、長さ調整用の延長用筒体部分の部品が、各々独立し自由に組み合わせ脱着できることにより、設置場所の形状と状態に対応するよう、二面对応型先端部もしくは三面对応型先端部の選択と、延長用筒体部品の要不要の選択の双方の

選択及び取替えを容易にしたことを特徴とする請求項1記載のお仏壇の耐震装置